

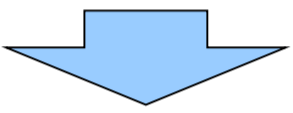
## 第5期「ふじのくに文化振興基本計画」基本目標の考え方について

## 1 考え方

第4期計画期間においては、文化プログラムを全県的に展開し、アーツカウンシルしずおかの設立、「演劇の都」構想や文化財大綱の策定など、文化活動を行う環境や仕組みを整えた。

第5期計画期間については、その仕組みを生かし、「ふじのくに芸術回廊」の総仕上げを進めるための新たな目標を設定する。

## 2 基本目標

現計画 <第4期>	次期計画 <第5期>	考え方
<p>感性豊かな地域社会の形成 ＜ふじのくに芸術回廊の実現＞</p> <p>～文化を享受し、創造し、支える人を育てるとともに、文化活動を行う環境や仕組みを整えます～</p>	<p><b>多種多様な文化が花開き、一人ひとりが表現者になる「ふじのくに芸術回廊」の実現</b></p> <p>～子どもたちが感性豊かに育ち、生涯を通して文化に親しめる地域社会を目指して～</p>	<p>○第4期で文化活動を行う環境や仕組みを整備 （アーツカウンシル設立 「演劇の都」構想策定 障害者芸術の推進 文化財大綱の策定 など）</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>○芸術回廊の総仕上げとして、子どもから高齢者、障害のある人も含め、すべての人々が様々な文化にふれることで多様性を認め合うとともに、文化や芸術の概念を生活の中にも広げて、人々が文化芸術に関わり感動し、行動することで「誰もが表現者」となれる社会を理想の姿として目指していく。</p>

## 3 審議会での意見

- ・多種多様な文化を認め合う時代に即し、相互理解を育むことを重視した姿勢が必要。
- ・「誰もが表現者になる」という、人に重点を置いた考え方は良い。しっかり説明をすることが大切。
- ・「ふじのくに」は「文化のくに」として発展させるという考え方を前面に出し、具体策を整理すべきである。
- ・生涯を通して文化に親しむことができる環境を創ることが重要である。

## 4 重点施策

新たな目標を具体化するため、重点施策を再構築する。

現計画 <第4期>	次期計画 <第5期>
<p>【豊かな感性を育む文化振興】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもが文化と出会う機会の充実</li> <li>2 多様な価値観を表現し、尊重する環境づくり</li> </ol> <p>【新たな価値を生み出す文化振興】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 創造活動の実現と環境づくり</li> <li>4 文化資源の発掘と創造活動による地域の魅力向上</li> </ol> <p>【人・社会・世代をつなぐ体制づくり】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 地域・社会の様々な課題への文化力の活用 ー文化「が」ささえるー</li> <li>6 文化を支援する機能の強化 ー文化「を」ささえるー</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界に誇れるしずおかの文化芸術の振興</li> <li>2 社会の多様な担い手による創造的な活動の推進</li> <li>3 文化芸術に触れる機会の拡充と人材育成の促進</li> <li>4 文化芸術を振興する仕組みの充実</li> <li>5 持続可能な文化活動の推進</li> </ol>